

週間漁海況情報 2021年第27号

令和3年7月6日発行

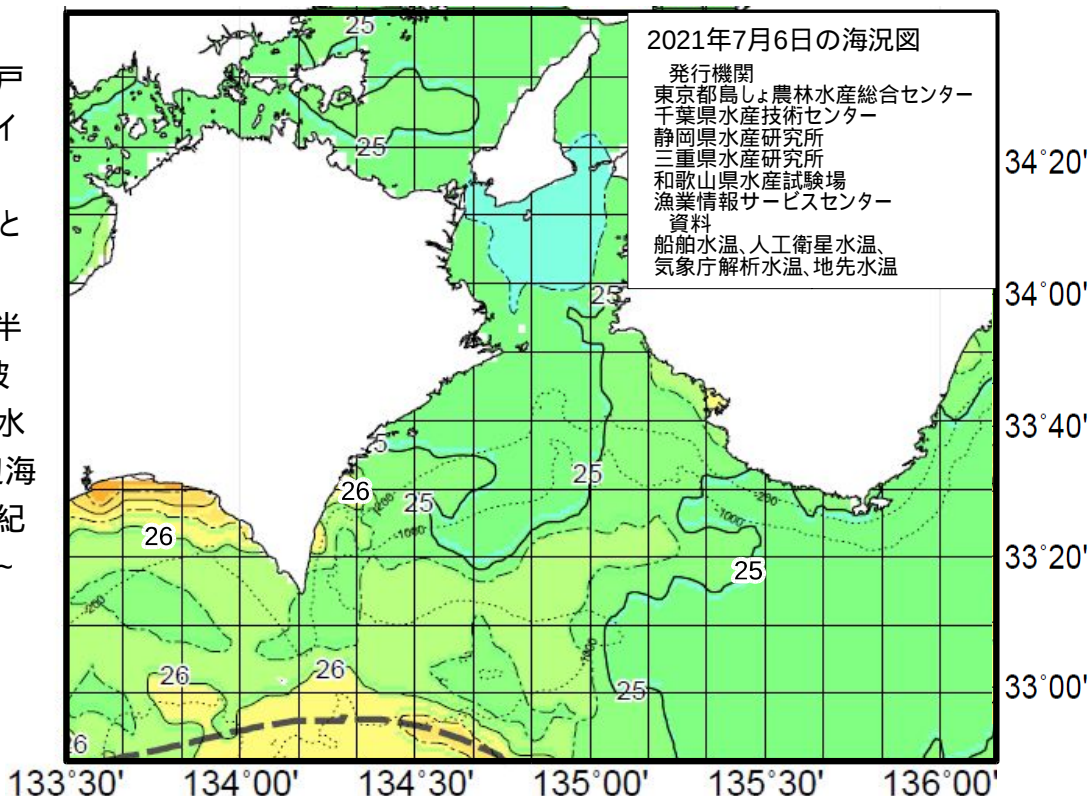
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖48マイル、潮岬沖93マイルを流れ、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」となっている。

黒潮から海部沿岸と紀伊半島へ向けて25 台の暖水波及がみられる。黒潮の表面水温は25～26 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸ともに24～25 台となった。



黒潮の離接岸の表現

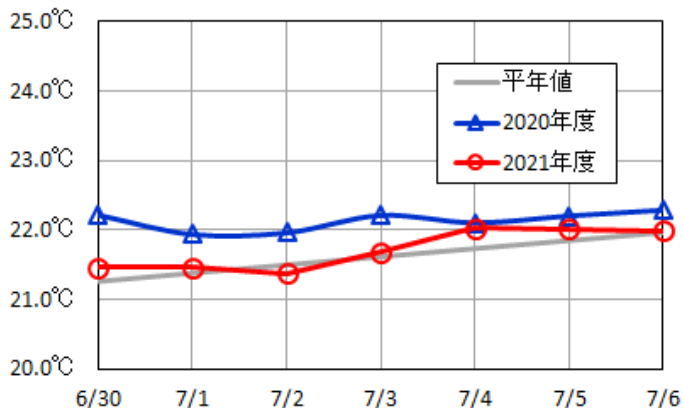
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

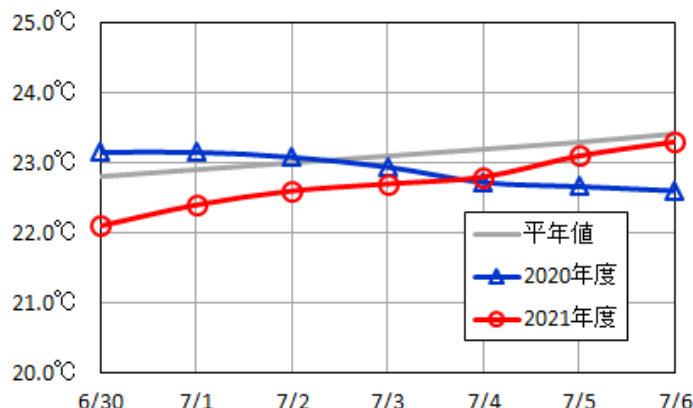
2. 地先水温(2021年6月30日～7月6日)

鳴門地区の水温は「平年並み」の21.4～22.0 で推移した。日和佐地区の水温は22.1～23.3 で「やや低め」から「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.6～1.3 になった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(7月7日～7月13日)

黒潮は、室戸岬は「やや離岸」から「離岸で」、潮岬沖で「離岸」から「著しく離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門、日和佐地区ともに「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (6月28日～7月4日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが大きく減って27ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが減って大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄では、八モが中主体に7.9ト、タチウオが減って0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく減って0.8ト、マダイが0.3ト、カワハギが減って大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、八モが減って中主体に4.4ト、マダイが減って0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

延縄では、キダイが減って大主体に0.6ト、アカムツが減って0.5ト、あまだい類が減って0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ウルメイワシが大きく増えて3.4ト、マサバが増えて中主体に0.9ト、マアジが豆アジ主体に0.7ト、さば類が大きく減って小主体に0.5ト水揚げされた。

大型定置網では、マサバが増えて小主体に4.2ト、小魚類が減って2.9ト、マアジが2.7ト、ゴマサバが大きく増えて大主体に0.5ト、マルソウダが減って0.3ト、ブリが大きく増えて0.2ト、ウルメイワシが減って小主体に0.2ト、とびうお類が減って中主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	72	シラス	27,000	375		
	釣り	14	イサキ	278	20	大主体	
	延縄	59	八モ	7,950	135	中主体	→
		33	タチウオ	434	13		
	小型定置網	19	ブリ	847	45		
		19	マダイ	344	18		→
		20	カワハギ	229	11	大主体	
	底びき網	35	八モ	4,427	126	中主体	
		33	マダイ	440	13		
	海部沿岸	延縄	23	キダイ	595	26	大主体
25			アカムツ	504	20		
23			あまだい類	217	9		
小型定置網		13	ウルメイワシ	3,370	259		
		11	マサバ	888	81	中主体	
		17	マアジ	739	43	豆アジ主体	→
		12	さば類	470	39	小主体	
大型定置網		5	マサバ	4,176	835	小主体	
		4	小魚類	2,898	725		
		5	マアジ	2,703	541		→
		5	ゴマサバ	467	93	大主体	
		5	マルソウダ	299	60		
		5	ブリ	241	48		
		4	ウルメイワシ	233	58	小主体	
5	とびうお類	233	47	中主体			

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: